

明日はバレンタインデー。

好きな子とキャッキャウフフお持ち帰りい～する事が許された、とてもありがたい日。

そんなイベントを目の前にして、私はいま気合を入れてチョコを作っている真っ最中。

ちなみに、チョコ作りのために用意した器具：ピーカー、フラスコ、試験管、メスシリンダー、各種薬品etc...

もう一度言おう。

私はチョコを作っている！

決して怪しい物は作っていない！

.....多分。

「さて、この薬を加えて、と」

とある薬を垂らした瞬間、湯煎によって溶かされていたチョコから紫色の煙が上がる。チョコ本体も紫色に発光したが、かき混ぜたらどうにか茶色に戻ってくれたのでよしとしよう。

後はこれを冷やして.....。

「出来た！ 私のチョコが出来たわよ！」

「お姉ちゃん、さっきから何だか魚の腐ったような匂いがするよう.....」

「見てなさい、泉こなた！

このかがみ特製チョコであんたにぎゃふんと言わせてあげるわ！」

「.....ぎゃふん」

こなたは一体どんな顔でこのチョコを食べてくれるだろうか？
今から楽しみで仕方がない。

焦っても嘆いても決戦は明日　　！

今日やれるだけの事はやったのだから、私も体力温存の為に早く寝ておこう。

.....とりあえずは倒れた妹を寝かせてから、ね。

それにしても私のチョコの匂いを嗅いで倒れるなんて、失礼な妹よね。

「.....そうだ　」

ちょっと私のチョコを試しに舐めさせてみよう。
そのための妹だ、きつとつかさもわかってくれるはずよ。

「ほら、つかさ。あーん」

「ん.....あ...ん？」

溶けたチョコが入っていたボウルにこびり付いていたチョコを、ゴムのヘラですくってみる。
そして、それを眠っているつかさの口元へ。

さて、つかさは一体どんな反応を.....。

「うおおおおおおおおおおおつ！？」

「きゃっ！」

今まで出した事がないであろう漢らしい雄叫びを上げ、劇画タッチの顔になるつかさ。
こんなキャラ北の拳にいたなー、って顔をする妹を前に。

「そっか……。」

そんなに美味しかったのね！」

もうこれは勝利を確信せざるを得ない。
ますます明日が楽しみになってきた。

「うふふふ……バルサミコ酢がおもちうによ～んって、どんだけー」

妹が意味不明な事を言っても気にしない。

「でもそんなの関係ねえ……ガクッ」

妹が倒れてもそんなの関係ねえっ。

「あ、そうだ」

メッセージカード付けておこうかしら……。

コメントフォーム

名前:

コメント:

投稿

■ なんというポジティブシンキング...(笑 -- ヘシータ (2010-08-20 16:16:40)

■ つかさに合掌(-人-)

さて、どんなカオスな結末が待っているのか楽しみです -- 名無しさん (2008-09-12 08:46:40)

■ これは大変なことになりそうな予感が・・・

続編を激しく希望！

え？時期が違う？でもそんなの関係ねえ！ -- 名無しさん (2008-07-04 22:03:32)